

期待のシンガーソングライター吉澤嘉代子さん。
今年3月には初のフルアルバム「帚星図鑑」をリリースする。
彼女が育った川口の铸物工場街と、
少女だった頃の思い出を語ってもらった。

吉澤嘉代子
1990年埼玉県川口市生まれ。铸物工場街育ち。16歳から作詞作曲をはじめ。2010年ヤマハ主催のコンテスト「The 4th Music Revolution」JAPANをダブル受賞。2014年5月ミニアルバム「変身少女」でメジャーデビュー。2015年3月4日に1stフルアルバム「帚星図鑑」を発売。5月には東名坂ツアーが決定している。

魔女になりたいくて
自分を迎えてきてくれる誰かをずっと待っていた。
今だったら、自分から迎えに行ける。

—音楽に興味をもったきっかけは何ですか？—

物心がつく前から、父が井上陽水さんのモノマネをずっとしてしまっていて、その姿を見て育ちました。音楽っていつかは「聞く」ことももちろんですが、パフォーマンスのように「やる」に近い感覚でした。いつから興味があるというのは分からないけれど、音楽はいつも身近にありました。音楽的な事じゃないんですけど、曲芸みたいなことを父としていて、たらら

ららら〜みたいな音楽に合わせて父の手の上に立つたりとか(笑)。なので、パフォーマンスみたいな事をするのは小さい時からよくやっていました。

—お父さんの影響が大きいんですね。では具体的に音楽の道に進もうと思ったのはどんなときですか？—

おしゃべりするのが昔から苦手で、本当の気持ちや伝えようとするのと泣いちゃうような子どもだったんです。だから「言葉にすく執着心があつて。今自分が生きている場所とは違う世界を持っている」ということで、小説や短歌を読み耽ったり。だから「言葉」というのがとても大きい存在で、それがたまたま音楽で表せるということだったんです。

—小さい頃はどんな子どもだったのですか？—

自分の中ではすごく激しいイメージがあつて、言葉でうまく伝えられないから癪癪を起すみたいな子どもだった記憶があるんですが、友達はいつも浮世離れた印象があったみたいで。なんだろう、外にはほんやりした子に見えてたんだろうけど、私の中には激しい感情がいっぱいありましたね。

—子どもの頃は「魔女修行」をしていました。家が川口の铸物工場だったので、その屋上の掘建て小屋で、ひとりりで箒で飛ぶ練習をしたり、ベットの裏に入れておしゃべりをしようとしてみたり、本を読んだり、詩を書いたりとかしていました。

—魔女修行？—

はい。現実ではただの無力な自分が、もしかしたら何か特別な存在になれる可能性秘めているんじゃないかと、別の自分に期待する事で生きるパランスをとっていたんです。その事は少し前まで封印したい過去だったのですが今はむしろ肯定したい。

あの時があつたから今があるという風に思いたい。後付けでも良いからそう思えるのは私にとっては大切な事なんです。

それは今の作風にもつながっていて、私は一曲ごとに主人公を設定して曲を書いているんですが、その主人公に变身する事で、魔女になりたいかつた幼い頃の夢が少しでも叶っているのかなと思うことがあります。今度出るアルバムの中の「ストッキング」という曲

が今の自分にリンクしていて、子どもの頃本気で魔女になりたいと思っていた気持ちや、大人になっていくにつれて薄らいでいく...あの頃の気持ちに戻りたい、という想いが込められています。あの頃は自分を迎えてきてくれる誰かをずっと待っていたけれど、今の自分だったら、自分から迎えに行けると思っています。私の中でも意味のある曲になっています。

—故郷である川口のことがついて、昔、今でも好きだった場所、思い出に残っている場所がありますか？—

そうですね。最近リリックビデオというのを撮っています。ミニアルバム「幻倶楽部」の中に「ちよとちよとだ」という曲があるんですが、川口の駅前の「たぬき」というファミリー居酒屋で親族や友達にエキストラで出演してもらいました。それを撮ったときに、みんなから応援してるから〜って声かけてもらって。うるうるときやいました。今でも良く行きま。串カツと鰻のたたきがすごく美味しいんです！

—穏やかな語り口からはキャップを感じるほどの思い切りの良い歌声ですね。

最近レコーディングしていて気付いたのですが、自分の声って川口の工場が育ててくれた声だと思えます。工場のキラキラした灰を吸って、キンコンカンコン、工場の喧噪の中で育った「工場の街」の声だ。

—今後の目標、活動の予定を教えてください。

「帚星図鑑」という、少女時代をテーマにした



ファイストフルアルバムを3月4日に発売します。吉澤嘉代子の初期、スト的なのでも、とても想いを入れたアルバムです。それを引っかけのツアーが5月に始まります。

夢はいっぱいありますが、曲を書く時に主人公をたててその世界を書いているんですけど、曲を聞いてくれる人が自分に投影して主人公になつてくれることが、私がその人に寄り添う、その人自身になれることだと思っています。その人が主人公になれる曲を書く、そういう書き方を続けていけたらなと思っています。

—最後に、読者の方にメッセージをお願いします！—

誰かによつて、それが魔女だったり、好きな人だったり、社会だたりとか、何かをしてもらうのではなくて、自分が未来の自分に会いに行けるように歩いていける、そんな風に思いながら、私の曲を聞いてもらいたいと思います。



妄想系個性派シンガーソングライター
吉澤嘉代子の初期集大成

吉澤嘉代子 1st ALBUM

「帚星図鑑」

2015.3.4 release!!

CRCP-40399/2, 778円(＋税) / 全13曲収録

●吉澤嘉代子 帚星ツアー'15

5/ 9 岡山MO:GLA

5/10 福岡Gate's7

5/12 名古屋・NAGOYA CLUB QUATTRO

5/15 大阪・UMEDA CLUB QUATTRO

5/16 東京・赤坂BLITZ

★詳しくは吉澤嘉代子公式サイトへ!

<http://yoshizawakayoko.com>